

朝夕に吹く風の中に、夏の終わりの気配を感じる時候となりました。今年の夏は、全国高等学校野球選手権大会での沖縄県代表の優勝という明るい話題が県民の心を熱くしました。その一方で、本土から来た複数の知人たちが「沖縄の方が涼しい」と口にしていたのが印象的でした。全国的に猛暑の夏であり、気候変動の現実を思わずにられません。暦の上では秋分を過ぎ、季節は確かに秋へと歩みを進めています。沖縄でも秋の楽しみを心待ちにしたいところです。

今月号の表紙は牧港中央病院の原信一郎先生による写真です。ご自身の催しに際して、季節や世代が移り変わる瞬間を写し取られました。誌面では、永らく理事を務められた先生方のご挨拶と、新たに就任された先生方の抱負が紹介されています。人の営みもまた四季のように巡り、役割を受け継ぎながら新しい章を刻んでいきます。それぞれの場での活躍を心よりお祈り申し上げます。

6月から7月にかけて日本医師会、九州医師会および沖縄県医師会で各連絡協議会、セミナーが開催されました。各地域レベルの医師会

で行われている多様な活動が担当なさった先生方から報告されています。

生涯教育コーナーでは遠藤尚宏先生が「こどもの安全なインターネット利用」について執筆されました。こどものインターネット利用をめぐっては様々な問題点が指摘されていますが、ゲーム障害や性的リスクといった現代的課題に加え、海外で進む国家レベルの対策を紹介し、社会全体の対応が求められていることを指摘されています。子どもたちの未来を守るため、医療従事者としても関心を持ち続けるべき課題だと感じます。

また、琉球大学大学院腎泌尿器外科学講座教授に就任された猪口淳一先生のインタビュー記事も掲載されています。これまでの歩みと今後の教育への抱負が語られ、とりわけ座右の銘に込められた思いには共感を覚えました。

他にも各分野の先生方による月間（週間）行事お知らせの記事が掲載されております。季節の変わり目にあって、誌面を通して人の歩みや社会の変化に思いを馳せていただければ幸いです。

広報委員 山川 研

